

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年12月26日

協議会名： 旭川市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
旭川中央交通株式会社	米飯地区と東旭川駅周辺間において、往路4便、復路6便(土日祝は往路3便、復路4便)の頻度でデマンド型交通の運行を行った。	運行地域の世帯に対してアンケートを配布し、地域住民のニーズの把握や満足度を測り、地域住民の意識調査を行った。	A	計画どおりの運行がなされ、適切に事業が行われた。	B 公共交通カバー率100%の目標を達成した。生活交通確保維持改善計画で示した定量目標のうち、乗車人数について、平成30年度は1日平均17.6人の目標を定めたが、実績は16.2人とどまった。	アンケートの結果から、利用方法がわからないと回答した割合が約1割あったため、チラシ等の配布により利用方法を周知し、利用者の増加を図る。また、意見交換会を実施し、地域住民のニーズの調査や意識調査を進め、より地域にあった事業を目指す。